

R5意見交換会テーマ

番号	テーマ案	内 容
1	新技術の採用事例について	生産性や安全性の向上、工期の短縮などに有効な「新技術や創意工夫」について、規模の大小に拘わらず、施工事例を具体的にご紹介してください。技術者の知見を広めると共に、新たなアイデアや新情報の共有が出来ればとても有意義と考えます。
2	建設業のSDGsについて	近年環境に対する関心の高さが顕著となっています。担い手の育成が喫緊の課題である建設業界において、環境に関心の高い層を取り込むことも課題解決の重要なポイントだと考えます。取り分け話題のSDGsに対する取組みやお考えをお聞かせください。
3	建設業のイメージアップについて	相変わらず、世間には土木・建設業はダークなイメージがあります。イメージアップの重要性は強く語られてきましたが、その現状や戦略等について広い視点からご意見をお聞かせください。 (意見項目の例) 1 現場のイメージアップ事例 2 個人のイメージアップ事例（けんせつ小町の活動事例、服装等） 3 求職に関する配慮 4 地域に対するイメージアップ戦略 5 情報発信媒体へのイメージアップ戦略（マスメディア、SNSの活用等） 6 その他、斬新なイメージアップ事例等
4	週休2日の具体的な取り組みについて	建設業界において週休2日を推進する動きは数年前から高まっており、担い手確保のためにも週休2日制の実現は重要です。しかしながら、現実においては問題点が多く、技術者から見た現状と改善策をお聞かせください。 1 労働時間の縮減における問題について ・関係者協議調整が未了の状況での発注 ・夜間工事の増大 ・供用関連等による集中工事など 2 週休2日交替制工事の推進とその実施に伴う必要経費について ・現在維持工事を中心に行われている工事の拡大 ・交替週休2日の確保による必要経費の増大

5	2024年の労働時間規制の本格導入に向けた取組みについて	<p>2024年の労働時間規制の本格導入により特別条項付き36協定を労働者と締結した場合においても</p> <ul style="list-style-type: none">①時間外労働時間：年720時間以内②時間外労働と休日労働の合計が月100時間未満③2～6ヶ月の時間外労働と休日労働の合計が平均月80時間以内④月45時間以上の残業は、年に6回以上行ってはいけない <p>という上限基準を厳守する必要があります。</p> <p>このため発注者と請負者が一体となり、書類の簡素化やDX・ICT施工の推進など現場作業の効率化を進める必要があります。労働時間規制に対する現場技術者のご意見、ご要望などをお聞かせください。</p>
---	------------------------------	---